



和光の緑と湧き水だより会報 Verda212号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。

作成：高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

自然に親しみ、湧き水を守るボランティア活動をしましょう **会 員 募 集 中**

2021年6月～8月の主な予定表 (2021年5月30日発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森(地域の会に協力して)
6月	書面表決書による総会 5月27日 全国一斉水環境調査	19日(第3土) 定期保全	12日(第2土) 富澤湧水保全 16日(第3水) 大坂ふれあいの森
7月		17日(第3土) 定期保全	10日(第2土) 富澤湧水保全 9時～ 21日(第3水) 大坂ふれあいの森
8月	中学生他の夏休みボランティア受け入れ	21日 定期保全夏休みボランティア	19日(第3木) 富澤保全ボランティア 18日(第3水) 大坂ふれあいの森

2021年度 NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 定期総会

2021年度総会において、書面表決書を返送いただき有難うございます。議長(芝勝治)および議事録署名人(茂木紀男)、代表理事の3名で5月27日に集計し、議事録を作成しました。下記のとおり、NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 2021年度総会議案は全て可決されましたので、ご報告いたします。

表決書 2021年度 NPO 法人和光・緑と湧き水の会

議案	賛成	反対
第1号議案	39	
第2号議案	39	
第3号議案	39	
第4号議案	39	
第5号議案	39	
第6号議案	39	

会員総数 51 名(中学生 2 名、小学生 1 名)。
定足数 48 名。各議案賛成 42 名(書面 39 名)
以上により、議案はすべて可決されました。

■ご意見記入欄に投稿有難うございます。

(以下の記事がありました)

大坂ふれあいの森、新倉ふれあいの森の市有地化を働きかける。(赤松様)

改訂マップを楽しく拝見しました。大坂ふれあいの森の会にも参加したいと思えます。(山口様)
代表パワースタミナ情熱に敬服。たまに冗談の一つで笑いゲットいただけりゃ更に愉い(栗原様)
この春に 90 歳となりこの度退会したいと思えます。長い間愉しく過ごしました・・・(坂下様)
ご無沙汰しています。今年度はぜひ皆様にお会いしたいと思っています。(沖野様)

総会を機に、久しぶりに電話でお話しできた方もあって、多くの方々に見守っていただいていることに感謝いたします。気軽に各フィールドに立ち寄って、お元気な姿を見せて下さい。

今年 5 月に 2 名の方が入会していただきましたのでここにご紹介します。

蔵ヶ崎真様：戸田市にお住まいです。第 3 小学校の先生です。主に富澤湧水で協力。

宮本裕介様：新倉ふれあいの森の近くにお住まいです。

読売新聞「スマイルよみうり」に湧き水の会の活動が紹介

5月10日、地域情報誌スマイルよみうりの記者・小林様の取材を受け、白子の湧き水・斜面林をご案内しました。15日には新倉ふれあいの森で定期保全活動の様子を紹介しました。

読売新聞6月5日号と同時に配布されます。約4万部の発行とのこと。和光の湧き水は、今までもテレビや新聞で紹介されてきました。多くの方々に、和光・湧き水ありということが知られています。ちょっと大げさですが、これも、湧き水の会が20年以上の情報発信してきた成果かな、と思います。富澤湧水では、水量はあまり変わらず、風景も代わっていないのが良い状態なのかもしれません。6月5日は、読売新聞と一緒に配達され、また地域の情報誌設置場所にはおかれています。皆様手に取ってみてください。



和光市緑の基本計画策定委員会発足と市内の緑地湧水地の視察



和光市の緑地保全などの計画を定める上記委員会が、発足し、当会の峰岸氏（環境づくり市民会議代表）が副議長に選任されました。5月12日、13日に専門家を含めた委員の緑地湧水地視察会が行われ、当会の高橋勝緒氏が参加して新倉ふれあいの森、富澤湧水、大坂ふれあいの森で緑地の重要性を説明しました。また、当会と市の2014年度の協働事業で行った和光市湧水環境調査の報告書が使われ、和光の特徴的な湧水、緑地の自然が残されていることの調査記録として用いられています。

和光市環境づくり市民会議では大坂ふれあいの森および富澤湧水を視察

和光市環境づくり市民会議には当会の会員が多く参加しています。5月26日、市内で緊急に守っていくべき湧水緑地として「大坂ふれあいの森」を中心に富澤湧水、熊野神社の視察が行なわれ、市民環境部次長兼環境課長末永氏他2名の方が参加され、高橋勝緒氏が湧水環境調査の報告書、学芸大生の卒業研究などを基に説明し、研修を行いました。



大坂ふれあいの森は、周辺に2か所大規模マンションが建ち、湧水のある隣接地は湧水路が埋設された埋立地となっています。このような中でも、森の保全活動が進み自然を残した良好な環境となっています。江戸時代からの古の川越街道の白子宿の一面にあり、歴史的にも残していくべき湧水緑地です。